FAXニュース
ŌMIYA
JR東労組大宮地本
2020年3月6日
No. 138

大地申第12号 「2020年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ団体交渉開催！【大宮車掌区分会】

埼京線関係・その4

【議論要旨】

1．平日４２行路の新宿駅（１８６４Ｋ～２０８９Ｋまで）の食事時間を大宮駅もしくは大崎駅に変更すること。

◆会社回答：行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

会社：１８６４Ｋからの行路を改善して、新宿駅での食事時間１時間18分を大宮駅に変更。２０４９Ｋ大宮駅で５８分の休憩時間を確保した。

組合：新宿駅３・４番での食事と言われているが、流し台もなく食事をとるには適さない。今後も食事をとりうる休憩は大宮駅、大崎駅を中心に考えていただきたい。

会社：声は把握している。極力実施していきたい。

食事をとりやすい箇所に休憩時間を設定！

2．丁寧なお客さま対応と、ゆとりある乗務の確保のため新宿駅・武蔵浦和駅折り返し時間を拡大すること。

◆会社回答：行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

会社：この間も、折り返し時分については可能な限り見直してきた。

組合：武蔵浦和駅８分折り返しという話もあった。ロングになる。折り返し時間の拡大は大きな課題だ。トイレについても不安を抱えている。ゆとりある乗務となるようにしていただきたい。

会社：折り返し時分の拡大は可能な限り検討し、実施していく。

3．乗務員の負担軽減に向けて、新宿駅または大崎駅からの武蔵浦和駅折返しの２回連続乗務を解消すること。

◆会社回答：行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

組合：平１１行路・休１４行路は２時間４０分の連続乗務となっている。

会社：平１１行路については改善できる。１００４Ｋ 新宿駅で休憩後、武蔵浦和駅へ乗務となっているが、変更して大宮駅での休憩時間を確保した。２１行路・１５行路などを変更してきている。新宿駅詰所の現状もあり改善した。

組合：今後も声を聞き、解消していただきたい。

長時間の連続乗務を解消！

4．回１６０２Ｋに大宮駅から便乗するため、大宮駅での停車時間を確保すること。

◆会社回答：列車ダイヤの設定については、お客さまのご利用状況等に合わせて設定しているところである。

会社：時分の差し替えを行った。大宮駅で１分停車を５分30秒に拡大することが出来た。

停車時間を拡大！

5．新宿駅１番線折り返し６２０Ｋ～７２１Ｋ・８５４Ｋ～９５５Ｋ・９２４Ｋ～１０２５Ｋが輸送混乱時に機外停車の要因となっているため、１番線折り返しを解消すること。

◆会社回答：列車ダイヤの設定については、お客さまのご利用状況等に合わせて設定しているところである。

組合：１番線折り返しだと湘南新宿ラインで入線ができない。

会社：解消に向けて考えているが、要望のある時間は１番線しか空いていないため１番線の設定となる。

組合：ダイヤ乱れでは相当後続列車が続いている。他の番線へ触れないのか？

会社：輸送障害時には１番線に限らない運転手法を勉強している。必ず１番線というものではない。

組合：５・６番線は頻度が少ないが？

会社：特急の時間は使用できない。渡っての移動によって遅延拡大になる実態もあるため駅と調整している。

6．厩道踏切と青山街道踏切の長時間遮断が常態化していることから対策を行うこと。

◆会社回答：列車ダイヤの設定については、お客さまのご利用状況等に合わせて設定しているところである。

会社：ダイヤの設定で新宿駅９時付近の３番線折り返しを２番線に変更。踏切を開けられる設定を行ってきた。ダイヤの設定ではこれが限界である。

組合：更なる対策に向けて検討をお願いしたい。現状については今後も発信していく。

7．使用頻度が増加している武蔵浦和駅５番線上りと大崎駅７番線のＩＴＶを新型に交換すること。

◆会社回答：設備の整備については、今後も必要に応じて検討していく考えである。なお、必要に応じて関係支社と調整を行っていく考えである。

会社：車掌用ＩＴＶの交換は毎年声を聞きながら優先度を決めている。３月４日にワイドの高解像度ＩＴＶに変更する。大崎駅については他支社になるため要請していく。

職場の声を団体交渉で改善に繋げました！！